

全ての診療領域の基礎となる ゲノム医療

～ゲノム医療推進法の基本計画策定に際し考慮すべきこと～

総合司会 福嶋 義光 (信州大学医学部遺伝医学教室特任教授)
間野 博行 (国立がん研究センター研究所長)

- | | | |
|-------|-----------------------------|------------------------------------|
| 13:00 | 開会の挨拶 | 門脇 孝 (日本医学会長) |
| 13:05 | 序論 | 福嶋 義光 (信州大学医学部遺伝医学教室特任教授) |
| 13:15 | ゲノム医療推進法成立の意義、展望と課題 | 高田 史男 (北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学教授) |
| 13:45 | ありふれた病気の遺伝解析の現状と社会実装への展望と課題 | 鎌谷 洋一郎 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授) |
| 14:15 | 医療情報の利活用とAIに関する法的課題 | 児玉 安司 (新星総合法律事務所弁護士／一橋大学法科大学院客員教授) |
| 14:45 | 日本のがんゲノム医療体制 | 間野 博行 (国立がん研究センター研究所長) |
| 15:15 | 小児・AYA世代に対するがんゲノム医療 | 加藤 元博 (東京大学医学部附属病院小児科教授) |
| 15:45 | 休憩 | |
| 16:00 | 総合討論 | (司会) 福嶋義光、間野博行 |
| 17:00 | 閉会の挨拶 | 磯 博康 (日本医学会副会長) |
| 17:05 | 終了 | |

入場無料
事前登録制

2024年

日時

10月5日土

開始時間 13:00

終了時間 17:05

場所

日本医師会館 大講堂

〒113-8621 文京区本駒込2-28-16 TEL:03-3946-2121 (代)

主催: 日本医学会
後援: 日本医師会 NHK 読売新聞社
組織委員: 福嶋 義光 (信州大学医学部遺伝医学教室特任教授)
間野 博行 (国立がん研究センター研究所長)

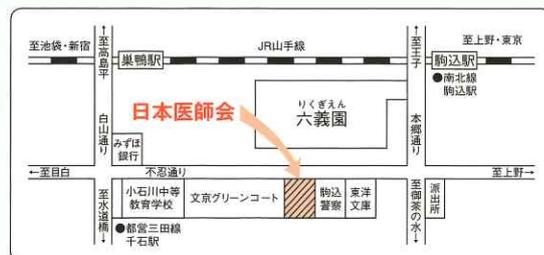
参加費: 無料 出席者は討論に参加できます。
参加方法: 日本医学会ホームページから登録(下記QRコードからアクセスできます)
※お申し込みの参加希望者の氏名、住所等の個人情報、第三者に提供することはありません。

申込受付: 2024年8月22日(木)より受付開始
締め切り: 先着300名
問い合わせ先: 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内
TEL: 03-3946-2121 (代)

URL: <https://jams.med.or.jp/>

日本医師会生涯教育制度(ただし、医師のみ)

本フォーラムでは、生涯教育制度のカリキュラムコード3(医療倫理: 研究倫理と生命倫理)、5(心理社会的アプローチ)、6(医療制度と法律)、9(医療情報)、12(地域医療)、15(臨床問題解決のプロセス)と3.5単位が付与されます。生涯教育制度の単位等を希望する医師の方は、参加申込の際に医籍登録番号、所属都市区医師会名をご記入下さい。記入がない場合、単位等の付与は行いません。



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分
- ※ 車での来館はご遠慮下さい。駐車できません。

日本医学会



第165回 日本医学会シンポジウム

The Japanese Association of Medical Sciences Symposium

2024年 11月16日 13:00
17:05

日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL: 03-3946-2121 (代)

入場無料
事前登録制

災害医療の

現状と今後の課題

13:00 開会の挨拶

門脇 孝 (日本医学会長)

13:05 シンポジウム概説 (序論)

大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター病院長)

座長 大友 康裕

13:15 1. わが国の災害医療体制の変遷と能登半島医療対応

近藤 久禎 (国立病院機構本部DMAT事務局次長)

13:45 2. 大規模災害への対応計画、本当に必要なBCPとは

高橋 礼子 (愛知医科大学災害医療研究センター講師)

14:15 3. 我が国の感染症危機管理体制について

鷲見 学 (厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部長)

座長 磯 博康 (国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センターセンター長)

14:45 4. 能登半島地震における行政デジタル支援者側から見た災害時医療DX

江口 清貴 (神奈川県情報統括責任者 (CIO) 兼データ統括責任者 (CDO))

15:15 5. 健康危機管理の研究・人材育成と多領域協働の推進

今中 雄一 (社会医学系専門医協会理事長 京都大学ヘルスセキュリティセンターセンター長)

15:45 休憩

16:00 総合討論 (質疑応答・総括)

司会 大友 康裕・磯 博康

17:00 閉会の挨拶

高橋 雅英 (日本医学会副会長)

17:05 終了

主催 日本医学会

第165回日本医学会シンポジウム組織委員 大友 康裕・磯 博康

参加費 無料 出席者は討論に参加できます。

対象者 医師および医療関係者

参加方法 日本医学会ホームページから登録 (下記QRコードからアクセスできます)

※お申し込みの参加希望者の氏名、住所等の個人情報、第三者に提供することはありません。

申込受付 2024年10月1日 (火) より受付開始予定

締め切り 先着300名

問い合わせ先 日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内
TEL: 03-3946-2121 (代)

URL <https://jams.med.or.jp/>



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
 - 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
 - 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分
- * 車での来館はご遠慮下さい。駐車できません。



日本医学会

日本医師会生涯教育制度 (医師のみ)

本シンポジウムでは、生涯教育制度のカリキュラムコード1 (医師のプロフェッショナルリズム) 0.5単位、8 (感染対策) 0.5単位、9 (医療情報) 0.5単位、10 (チーム医療) 0.5単位、12 (地域医療) 0.5単位、14 (災害医療) 1単位の合計3.5単位が取得できます。生涯教育制度の単位等を希望する医師の方は、参加申込の際に、医籍登録番号、所属の市区医師会名をご入力ください。入力がない場合、単位等の付与は行いません。